

# 糸南地区振興協議会 まちづくり通信 Vol.34

発行日：令和4年5月1日

## 田谷公園に「みんなのトイレ」が完成しました



4月6日(水)、田谷公園に完成した「みんなのトイレ」の寄贈式が行われました。

寄贈したのは、創業70周年を迎えた田谷の「(株)千葉誠」で、永年お世話になった地域の方々に感謝したいとの思いから記念事業として改修工事を行い、気仙沼市に寄贈されました。

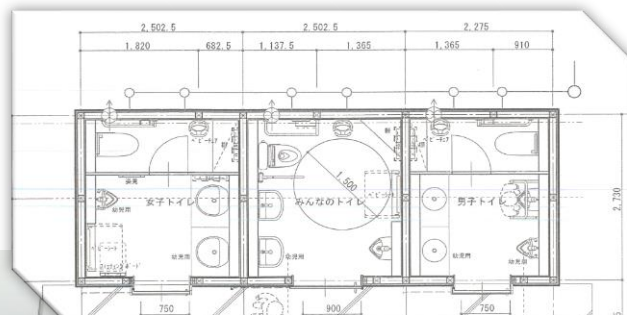
設計のコンセプトは“安全・安心・衛生”で、地元自治会や女性社員の意見を取り入れたことで、随所に工夫が

凝らされており、衛生面や使いやすさはもちろんのこと、照明の明るさ、警報装置などの防犯対策、災害時などにも利用できるよう貯水タンクや外部電源からの供給機能を備えたすばらしい施設です。

また、新型コロナウイルスの感染対策として除菌装置なども整備しています。

会社の方の説明では「明るく開放感のある清潔なトイレなので、幅広い年代の方に安心して利用していただきたい。」とのことでした、

また、地元田谷自治会の菅原保孝会長は、「想像していたものより立派なものでビックリした。非常にありがたく感謝している。」と話していました。



広い多目的トイレにはおむつ交換用ベッドも

除菌用の手指紫外線除菌装置

楽しく使用できる男児用便器

# 気軽に相談し助け合える環境づくりが大切

## ～西地区社会福祉協議会アンケートから～

去る2月～3月にかけて、住みよい街づくりの一環として実施された西地区社会福祉協議会のアンケートの集計結果の概略をお知らせ致します。

調査方法は、地域内の100人を対象にアンケート用紙と無記名での回答用葉書を配布し、81名からの回答が事務局に寄せられました。

- ・回答者は56%の方が女性で、50歳以上の方が84%を占め、家族構成は2/3の方が2世代、3世代の同居生活でした。
- ・毎日の暮らしの中で抱える不安や悩み事（複数回答）については、自分や家族の健康42%、老後の生活を上げる方が38%を占める中で、20%の方が悩みや不安がないと答えている一方で、過去に困りごとや援助が必要だったときに、家族以外の誰にも相談しなかったと16%の方が答えています。住みよい街づくりには、気軽に相談し助け合える環境づくりが大切と西地区社会福祉協議会では話しておりました。
- ・地域で安心して暮らすために出来ること、やりたいと思うこと（複数回答）への問いには、見守りや声かけ運動が57%、地域行事への参加に37%、環境美化活動に35%の方々が好意的に答えています。
- ・過去10年間に参加したり取り組んでいる活動（複数回答）については、自治会や町内会活動が44%、リクリエーションやスポーツ活動37%、環境美化活動33%などが高い割合を占める一方で、特にないと18%の方が答えています。
- ・最後に、西地区社協に期待する活動として、災害時の支援活動や住民による見守りや支え合い活動への支援、隣近所や自治会などの交流活動への支援などが上がっております。

西地区社協では、「コロナ禍が続いており、活動にはいろいろと制約があるものの、アンケートの結果を踏まえて、少しでも住みよい街づくりを目標に頑張りたい」と話しております。

## 本郷二区で清掃活動 ゴミのポイ捨て止めて！



4月3日（日）午前7時から、本郷二区1、2組の方々が清掃活動を行いました。

この活動は、風で飛ばされたり、ポイ捨てされたゴミがBRTの土手周辺に散乱していることから、有志の方の声かけで、ビックハウス後方のごみ集積所から旧国道までの間で行われました。

作業には子供からお年寄りまで30名程が参加し、不法投棄された空き缶や枯草も含めて、30袋程を収集しました。

参加した住民の方からは「人目に付きにくい場所なので、ポイ捨てが多いのは残念だ。」という声がありました。

発行：条南地区振興協議会

〒988-0053 気仙沼市田中前 4-8

気仙沼中央公民館条南分館内

☎ 080-9331-9748

✉ [jyounanshinkou@gmail.com](mailto:jyounanshinkou@gmail.com)



Twitterはこちらから



Facebookはこちらから



